

「自宅の防犯対策」大丈夫ですか？



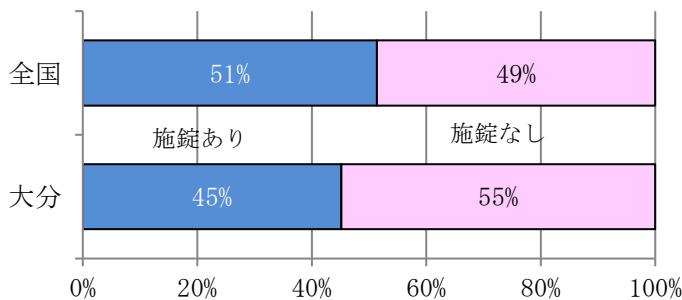
転勤、就職、入学シーズンになりました。

家族で引っ越しをする方や1人暮らしを始める方はもちろんのこと、引っ越しの予定がない方も、「自宅の防犯対策」がしっかり出来ているか考えてみてください。

○ 住宅侵入盗被害における施錠状況

※住宅侵入盗とは「空き巣」「忍込み」「居空き」のことを指します。

住宅侵入盗被害時の施錠率（平成28年）



カギかけは防犯対策の基本だよ！絶対に忘れないで！！



かける君

- ・住宅侵入盗被害の約半数は、無施錠での被害です。
- ・大分県は、全国平均よりもカギをかけ忘れて被害に遭う傾向にあります。
- ・住宅侵入盗の犯人は、まず、無施錠の場所を探します。
- ・短時間の外出でもこまめに施錠してください。
- ・風呂場などの小さな窓や2階の窓から侵入してくる場合もあります。
- ・外出する時は、家の全ての出入り口や窓を施錠してください。

○ 泥棒が嫌がる家ってどんな家？

【泥棒が嫌がる家の4つの要素】

時間

泥棒は侵入に時間がかかることを嫌がります。
侵入に5分以上かかると約7割が諦めるというデータがあります。



人目

泥棒は周囲の人目を気にします。
周囲から見えやすい場所での犯行は避けます。



光

泥棒は突然明るく照らされることを嫌います。
人目についてしまうからです。



音

泥棒は突然大きな音が鳴ることを嫌います。
周囲の人に気づかれてしまうからです。



被害に遭わないためには、「カギかけ」と合わせて、上記の「泥棒が嫌がる家の4つの要素」を備えた防犯環境設計を行うことが重要です。

防犯環境設計の4つの対策



侵入盗被害の防止には、下記の4つの対策が重要です。
これらをバランス良く組み合わせ、ハード面・ソフト面の両面から防犯環境を構築しましょう。

① 接近の制御～侵入経路を制御する～

犯罪を企てる者の動きを限定し、被害対象(家屋等)への接近を妨げ、犯罪の機会を少なくする。

○威嚇・抑止

- ・人感センサーライトの設置
照明を設置して、侵入者を驚かせる。
- ・防犯カメラの設置
外部から見える場所に設置することで、侵入しにくくさせる。



○足場の削除

- ・2階以上の窓やバルコニーからの侵入を防ぐため、そばに足場となる物がこないようにする。
(例)
 - ・大きな木 ・カーポート ・雨どい
 - ・エアコン室外機 ・物置 etc.・・・
- ※対応が難しければ、開口部の防犯を強化する。

③ 被害対象の強化～侵入を諦めさせる～

破壊されにくい建物部品や防犯設備等を設置して、侵入の機会を減らす。

○窓の強化

- ・防犯ガラスの使用
2枚のガラスの間に中間膜を挟み込んでおり、破壊されにくい。
注意点～「網入りガラス」は防災用であり、防犯性能はほとんどありません。
- ・補助錠の設置
2カ所のロックにより、容易に開けられることを防止。



○玄関ドアの強化

- ・ピッキングに強いディンプルキーなどの鍵を使用する。
- ・サムターン回しやバールなどでのこじ破る手口に耐えうる強度、造りの玄関戸を設置する。



まもる君

CPマーク製品(防犯性能の高い建物部品)がお勧めだよ。

② 監視性の確保～侵入を“見える化”する～

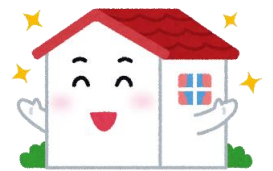
周囲からの見通しや照明を確保して、犯罪を企てる者が、常に人から見られる環境をつくる。

○死角を減らす

- ・フェンスや塀などは出来る限り見通しを確保した造りとし、植栽は、低く剪定して周囲から見やすくする。

○明るさの確保

- ・照明環境の整備
門灯、玄関灯、庭園灯、窓明かりなどにより、夜間でも明るさを保って、周囲から見やすくする。



④ 領域性の強化～侵入しにくい環境をつくる～

地域住民によるコミュニティ形成や環境の維持管理活動を促し、犯罪を企てる者に「防犯意識が高い地域」と感じさせる環境をつくる。

○近隣コミュニティの形成

- ・顔見知りの関係づくり
日常的な挨拶や近所付き合い、防犯ボランティアへの参加や美化活動などを通じて、顔見知りの関係を広げる。



※泥棒は声をかけられることを非常に嫌います。



今春から新たに1人暮らしを始める方は、防犯設備の整ったアパート等への入居をお勧めします。